

2021年1月20日 第361号

# 憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター  
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)  
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

総がかり行動 19日行動に500人

いのちとくらしと雇用・営業をまもれ！罰則より補償を！  
改憲手続法強行許さない！菅政権を退陣に！



総がかり行動実行委員会・全国市民アクションは1月19日夜、今年初めての「19日行動」を国会議員会館前で行い、寒風が吹き荒れる中、500人が参加しました。菅首相は施政方針演説で「コロナを1日も早く収束させる」と表明しましたが、感染防止の積極的な施策はまったくありません。感染拡大が収まっていないのにGo Toや国土強靱化などと言っている場合ではありません。市民と野党の共闘で菅政権を退陣に追い込みましょう。

社会民主党の福島みずほ参議院議員、沖縄の風の高良鉄美参議院議員、立憲民主党の近藤昭一衆議院議員、日本共産党の田村智子参議院議員があいさつしました。

総がかり行動実行委員会共同代表の小田川義和さんが主催者あいさつを行い、「菅政権は本気でコロナに立ち向かう気概が見えない。このことも不支持率の増加につながっている。入院を拒否したら罰則など悪夢の自公政権だ」と強調。「いのちとくらしを守るコロナ対策、桜を見る会問題、河井夫妻選挙違反事件、吉川元農林大臣の金権疑惑など問題が山積している。市民と野党の共闘で菅政権に代わる政権にしていくため力を尽くそう」と呼びかけました。

「止めよう！辺野古埋立て」国会包囲実行委員会の野平晋作さんは、辺野古埋め立て反対での動画サイトの立ち上げや青いものを身につけアピールする辺野古ブルーアクションの取り組みなどを紹介。「総がかり行動との共同で官邸前行動も検討している。これからも協力をお願いします」と呼びかけました。

安保法制違憲訴訟の会の有岡佳次朗弁護士は「22地域で25の裁判がたたかわれている。今まで出ている判決では憲法判断には触れず、戦争が起きていなければ影響はないとうものだ。21日にオンラインで集会を行う。引き続きご支援を」と訴えました。

ICAN(ピースボート)の松村真澄さんは「1月22日に核兵器禁止条約が発効する。日本は署名も批准もしようとしていないが、世論は批准すべきだと訴えている。私たちの運動の成果で国会議員の意識も変化している」と報告しました。

行動提起を、憲法9条を壊すな！実行委員会の菱山南帆子さんが行いました。